

高まる世論に押され

移転推進勢力も否決できず

自民、民主、公明、みらい

福岡市議会第2委員会が1月28日開かれ、こども病院を人工島に移転する「新病院基本構想」の白紙撤回などを求めた請願の審査が行われました。日本共産党は請願採択を主張しましたが、継続審議となりました。

## 日本共産党 市民の声代弁し採択を主張



請願は「こども病院の人工島移転に反対する連絡会」が4万2030筆の署名を添えて市議会議長あてに提出していたもの。たくさんの方

いる実態や、医師が計画通りに確保できていない実態が浮き彫りとなりました。両議員は請願通り、2病院を元の市の直営に戻すよう要求しました。

者が見守る中、日本共産党の中山いくみ議員、熊谷あつ子議員が2時間以上にわたって質疑を行いました。

請願の取り扱いについて、日本共産党は「市長もかわった今、市民の願いにこたえるべきだ」と請願の「採択」を主張。

「新病院基本構想」について、人工島移転先がありきだったのではないかという疑惑を追及したのに対し、市の新病院担当は「適正に進めてきた」と、これまでの説明を繰り返しました。その一方で、移転を強行しようとした前市長が落選し、新市長が「再検証」を公約したことを踏まえ、「今後『こども病院移転計画調査委員会』における検証結果を踏まえ、適切に対応していく」との態度を示さざるを得なくなりました。

計画と独法化を推進してきた公明党、民主党は「調査委員会の動向を見守りたい」などとして「継続」の態度をとりました。意見がまとまらなかったため、「継続審議」となりました。

# 市議会第2委員会 こども病院の人工島移転に反対する請願を審査

また、昨年4月から地方独立行政法人化されたこども病院と市民病院においては、「効率的な病院経営」を目指すとし、看護師のこれまでの3交代制が一部2交代制になり、過酷な勤務になって



日本共産党  
市議会議員(早良区)  
**中山いくみ**

これまで実質オール与党の多数で進められてきた人工島移転計画を、市民の運動と日本共産党市議団の論戦で、押し返しています。私たちは、市民が望む「現地建て替え」の実現と、両病院を市の直営に戻すため、引き続きがんばります。